

若者の育成支援に向けた取組について

若者を取り巻く課題等や「子ども・若者育成支援推進法」及び「子供・若者育成支援推進大綱」等の趣旨を踏まえ、若者施策に係る考え方を取りまとめたところであるが、若者の健やかな育成支援を推進するための取組について、次のとおり報告する。

1 若者の育成支援のあり方

これまでの若者施策に係る検討の趣旨に鑑み、次の若者施策に係る取組の方向性に基づいて事業を実施する。

若者施策に係る考え方(取組の方向性)(令和3年4月・子ども文教委員会報告)

○すべての若者の健やかな育成支援

- ▶ 居場所を創出する機会と拠点の拡充
若者支援拠点整備、団体活動支援
- ▶ 多様な体験・経験の機会の提供
興味・関心に応じた体験、多世代交流、人間性・社会性を育む体験
- ▶ 社会参加や活動の機会の提供
若者の意見表明の場、自己表現の場、主体的な活動・交流の機会

2 短期的取組

令和3年度に予定する事業のうち、ハイティーン会議を次のとおり実施する。

(1) ハイティーン会議の目的

若者が社会を構成する一員として成長するためには、若者が主体的に行動することを通して自立や成長を促すこと、多世代交流を経験する機会をつくること、社会参画意識を高める必要がある。

また、若者の社会参加・参画を進めるためには、若者が意見を言える環境を整え、意見を受け止めながら共に考える大人の存在が必要である。

これらを鑑みた機会を中高生に提供することを会議実施の主眼に置くものとする。

(2) 実施内容

中高生がより参加しやすいよう、夏季休業期間を中心とした3か月程度の短期集中開催とすること、ワークショップにおける議論の結果報告と合わせて中高生の意見表明として発信する機会の検討、中高生の興味や関心と区の実情や実態を関連づけたテーマでの事業実施、事業周知のための生徒へのチラシ配布や学校へのポスター掲示などを行う。

また、当該事業の成果や課題を検証し、令和4年度以降の若者の育成支援事業の実施につなげていく。

<参考> これまでのハイティーン会議における主な課題

行政評価における外部評価結果等において、参加者が硬直化しており広がりのある事業となっていないこと、区立中学校への事業定着が低く区立中学校生徒の参加が少ないこと、区の直接実施事業とすることの必要性、参加者を確保することで事業の効果を高める必要があること、短期間での実施やコンセプトの整理など実施方法を工夫する必要性や、区政課題への関連づけなどテーマ設定の妥当性、などについて指摘があった。

3 中長期的取組

令和4年度の予算編成に向けて、短期的取組の実施状況も踏まえ、ハイティーン会議の拡充、中高生向け施設の機能等の検討、地域団体による若者の居場所づくり活動への支援策等の検討を進め、若者の育成支援事業の拡充を図る。

4 今後の予定

令和3年6月	令和3年度ハイティーン会議参加者募集（1か月程度）
7月～9月	ハイティーン会議ワークショップ開催（全5回程度）
10月	ハイティーン会議報告会開催
11月	ハイティーン会議活動結果報告公表（報告書作成、区HP等で公表）
12月	令和4年度育成支援事業の考え方の取りまとめ